

AVANT

2020年 6月期

第3四半期 決算説明資料

株式会社アバント

(証券コード3836 東証一部)

2020年 5月7日

- I．2020年6月期 第3四半期の決算概要
- II．業績予想 および 配当予想

* 資料内の数値は表示単位未満を切捨てて表示しております。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみを全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。

I. 2020年6月期 第3四半期の決算概要

～ 税効果の影響を除き、増収増益を維持 ～

- 各事業セグメントで安定した需要を背景とする増収により固定的費用増を相殺し、四半期単独で利益率改善を継続
- 現時点で新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であり、業績予想は据え置くが、お客様である大企業のIT投資行動を注視しながら対応を検討

(単位：百万円)

	2019年6月期 第3四半期	2020年6月期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,565	11,784	+ 1,219	+ 11.5%
売上原価	5,758	6,468	+ 709	+ 12.3%
販管費	3,198	3,628	+ 429	+ 13.4%
営業利益	1,607	1,687	+ 79	+ 5.0%
営業利益率	15.2%	14.3%	-	△ 0.9 point
経常利益	1,607	1,692	+ 84	+ 5.3%
四半期純利益	1,030	1,018	△ 12	△ 1.2%
EBITDA	1,725	1,837	+ 111	+ 6.5%

事業セグメント別

AVANT

(単位：百万円)

		2019年6月期 第3四半期	2020年6月期 第3四半期	前年同期比	
				増減額	増減率
連結会計関連	売上高	6,016	6,330	+ 313	+ 5.2%
	営業利益	953	1,088	+ 134	+ 14.1%
	営業利益率	15.9%	17.2%	-	+ 1.3 point
ビジネス・ インテリジェンス	売上高	3,784	4,381	+ 597	+ 15.8%
	営業利益	546	561	+ 14	+ 2.6%
	営業利益率	14.5%	12.8%	-	△ 1.6 point
アウトソーシング	売上高	1,199	1,535	+ 335	+ 27.9%
	営業利益	281	368	+ 87	+ 31.0%
	営業利益率	23.4%	24.0%	-	+ 0.6 point

～ 増収基調の中でコスト管理を強化 ～

- 新規契約は制度会計・収益管理ソリューション共にバランスよく積み上がり、受注高・受注残高はプラス成長
- 新オフィス稼働費用を増収でカバーし、利益率改善続く。将来の需要変化に対応すべく、固定費は抑制方向にシフト検討

(単位：百万円)

	2019年6月期 第3四半期	2020年6月期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	6,016	6,330	+ 313	+ 5.2%
営業利益	953	1,088	+ 134	+ 14.1%
営業利益率	15.9%	17.2%	-	+1.3point
受注高	5,195	5,846	+ 651	+ 12.5%
受注残高	1,611	1,689	+ 77	+ 4.8%

～ 旺盛な投資需要は変わらず ～

- DXに対する投資ニーズは引き続き強く、3割増となった前年度四半期に対しても二桁増収を達成、累計でも二桁増収を維持
- 報酬水準引上げと新オフィス稼働に伴う固定的費用増も、収益性の高いプロジェクトに注力することで四半期単独では収益性改善続く

(単位：百万円)

	2019年6月期 第3四半期	2020年6月期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,784	4,381	+ 597	+ 15.8%
営業利益	546	561	+ 14	+ 2.6%
営業利益率	14.5%	12.8%	-	△1.6point
受注高	3,899	4,103	+ 204	+ 5.2%
受注残高	1,044	926	△ 118	△ 11.3%

～ 高水準の増収で費用増を吸収し利益率改善 ～

- 決算アウトソーシング、資金管理ソリューションで新契約成立続き、受注・受注残は非常に高い伸び、ストック売上も高い伸び続く
- オフィス拡張に伴う固定的費用増を増収により吸収し、営業利益率は前年同期水準を超過

(単位：百万円)

	2019年6月期 第3四半期	2020年6月期 第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,199	1,535	+ 335	+ 27.9%
営業利益	281	368	+ 87	+ 31.0%
営業利益率	23.4%	24.0%	-	+0.6point
受注高	1,122	1,573	+ 451	+ 40.2%
受注残高	597	891	+ 294	+ 49.2%

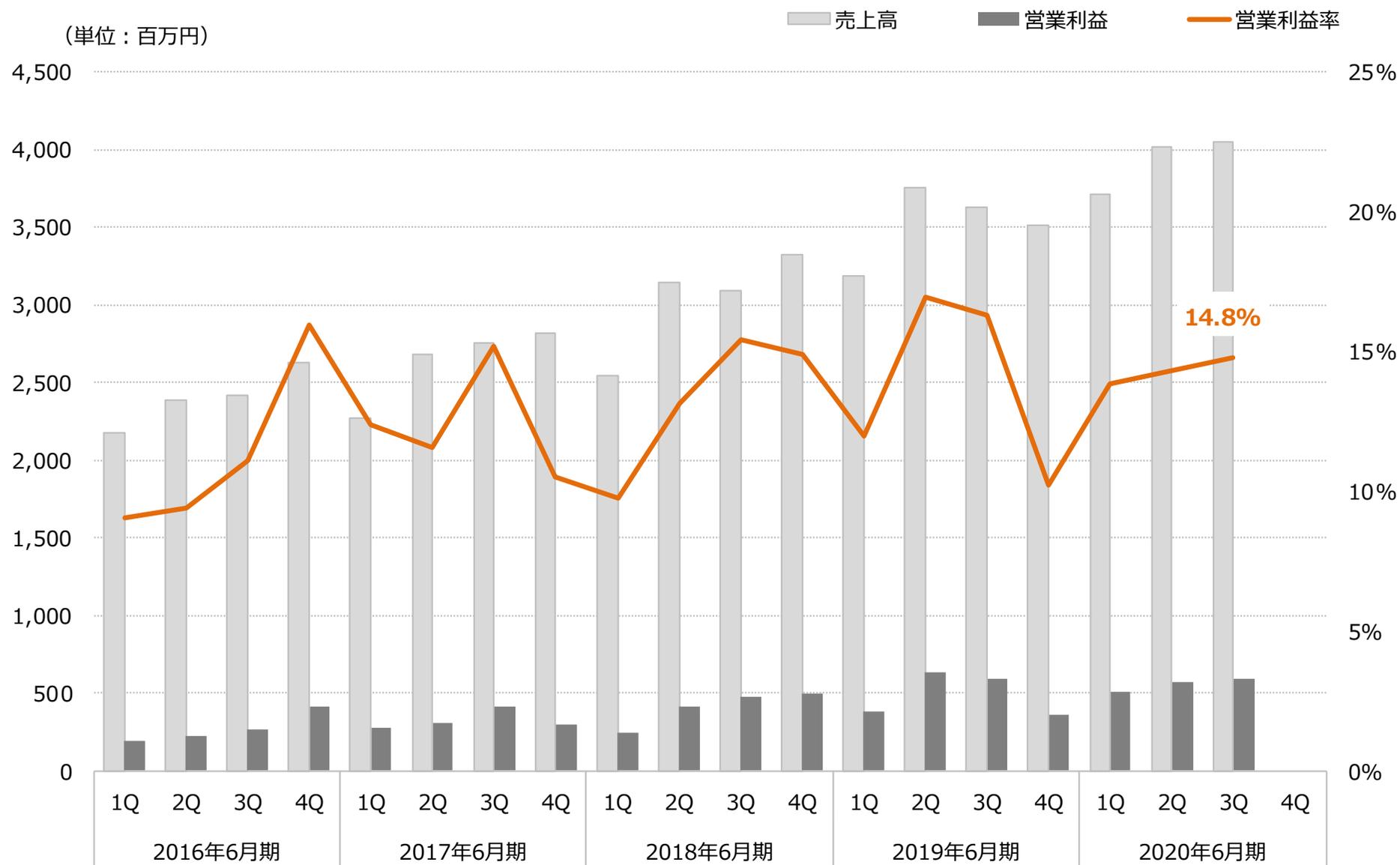
■ 固定的費用増により利益額・利益率は前年を下回るが、四半期で着実に改善

(単位：百万円)

	2016年6月期				2017年6月期				2018年6月期				2019年6月期				2020年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q												
売上高	2,175	2,389	2,420	2,627	2,272	2,685	2,756	2,817	2,544	3,144	3,095	3,326	3,180	3,752	3,631	3,512	3,714	4,019	4,050	
売上原価	1,233	1,341	1,454	1,423	1,288	1,444	1,490	1,610	1,514	1,866	1,720	1,845	1,772	1,929	2,057	2,020	2,149	2,205	2,113	
売上総利益	941	1,047	966	1,204	984	1,241	1,265	1,206	1,029	1,277	1,374	1,481	1,408	1,823	1,574	1,492	1,565	1,814	1,936	
販売費・一般管理費	744	822	698	784	703	930	847	910	781	865	898	986	1,027	1,188	982	1,133	1,050	1,239	1,338	
営業利益	197	224	268	419	280	310	418	296	247	412	476	494	380	634	592	358	514	574	598	
営業利益率 (%)	9.1	9.4	11.1	16.0	12.4	11.6	15.2	10.5	9.7	13.1	15.4	14.9	12.0	16.9	16.3	10.2	13.8	14.3	14.8	
経常利益	196	222	268	425	280	315	416	296	248	415	472	495	380	633	593	364	520	573	598	
四半期純利益	130	118	118	293	183	-0	250	230	162	269	311	318	237	403	389	286	331	339	344	
償却前利益 EBITDA	251	283	328	483	341	370	481	359	300	436	514	534	417	673	634	408	557	621	658	
償却前利益率 (%)	11.5	11.9	13.6	18.4	15.0	13.8	17.5	12.8	11.8	13.9	16.6	16.1	13.1	17.9	17.5	11.6	15.0	15.5	16.3	

四半期推移 売上高・営業利益

AVANT



セグメント 四半期推移

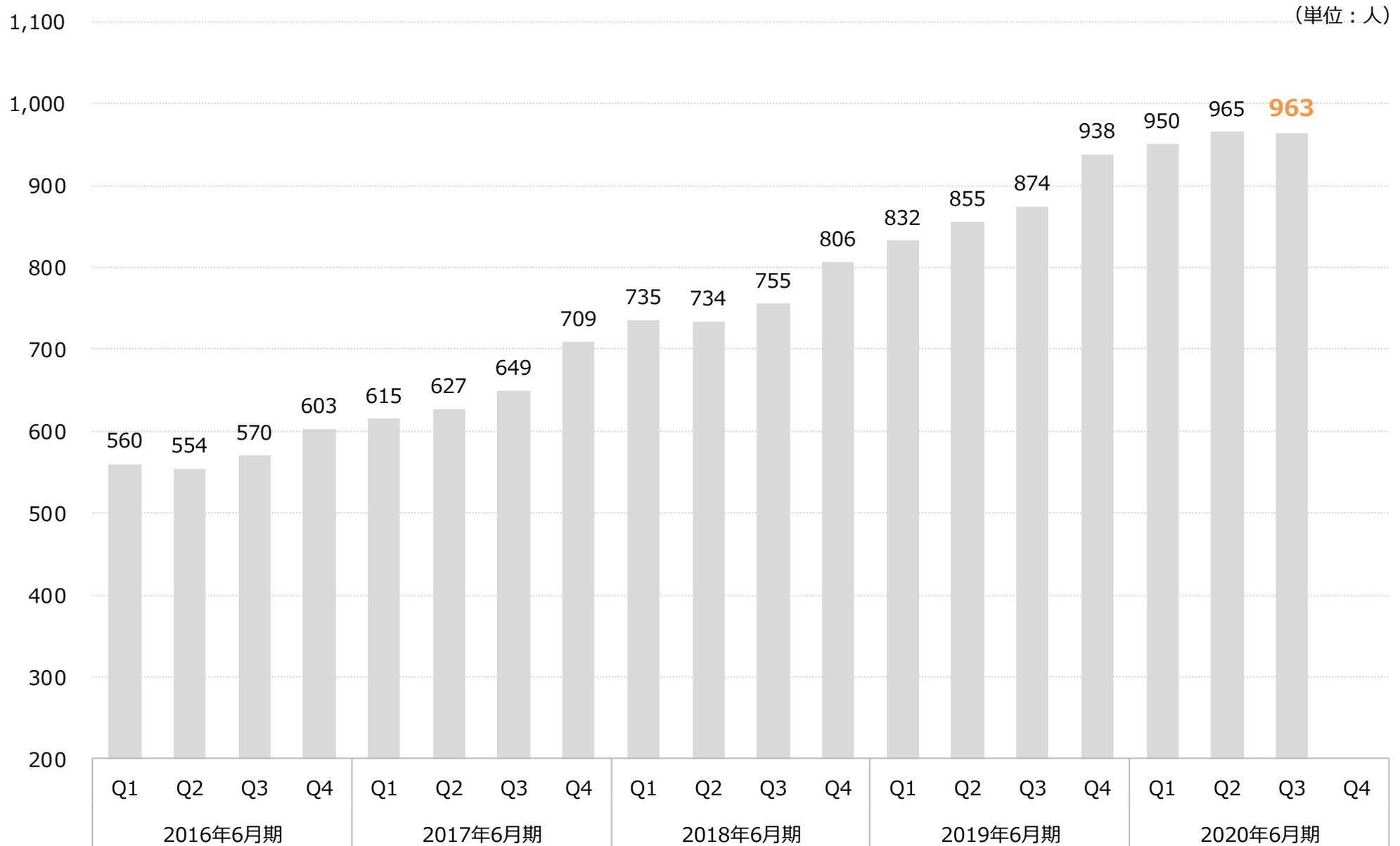
AVANT

(単位：百万円)

		2018年6月期				2019年6月期				2020年6月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注額	連結会計関連	1,343	1,906	1,557	2,924	1,611	1,890	1,693	2,579	1,893	2,008	1,944	
	ビジネス・インテリジェンス	998	1,030	1,118	1,073	1,235	1,223	1,439	1,365	1,565	1,347	1,191	
	アウトソーシング	297	343	297	549	439	319	363	685	599	468	505	
	(部門間取引消去)	△ 72	△ 255	△ 116	△ 154	△ 201	△ 115	△ 92	△ 266	△ 102	△ 201	△ 64	
	受注額	2,567	3,025	2,856	4,392	3,085	3,317	3,404	4,363	3,955	3,623	3,576	
受注残	連結会計関連	1,913	1,876	1,576	2,433	2,261	1,927	1,611	2,173	2,143	1,910	1,689	
	ビジネス・インテリジェンス	762	791	895	929	1,004	958	1,044	1,204	1,340	1,245	926	
	アウトソーシング	515	524	474	675	734	650	597	852	948	928	891	
	(部門間取引消去)	△ 65	△ 187	△ 179	△ 203	△ 260	△ 232	△ 177	△ 303	△ 264	△ 312	△ 209	
	受注残	3,125	3,006	2,768	3,834	3,739	3,304	3,076	3,927	4,168	3,771	3,298	
売上高	連結会計関連	1,392	1,942	1,857	2,068	1,783	2,225	2,008	2,017	1,922	2,242	2,165	
	ビジネス・インテリジェンス	897	1,001	1,014	1,039	1,161	1,268	1,353	1,206	1,429	1,441	1,510	
	アウトソーシング	282	334	347	349	380	402	416	430	504	489	541	
	(部門間取引消去)	△ 27	△ 134	△ 125	△ 130	△ 144	△ 143	△ 147	△ 141	△ 141	△ 153	△ 167	
	売上高	2,544	3,144	3,095	3,326	3,180	3,752	3,631	3,512	3,714	4,019	4,050	
営業利益	連結会計関連	145	220	265	398	244	362	346	339	330	379	378	
	ビジネス・インテリジェンス	21	81	122	98	102	210	233	89	180	171	209	
	アウトソーシング	50	72	53	36	101	100	79	37	118	116	133	
	(部門間取引消去)	29	37	34	△ 39	△ 68	△ 39	△ 67	△ 106	△ 114	△ 93	△ 122	
	営業利益	247	412	476	494	380	634	592	358	514	574	598	

連結グループ従業員数の推移

AVANT



財務・キャッシュフローの状況

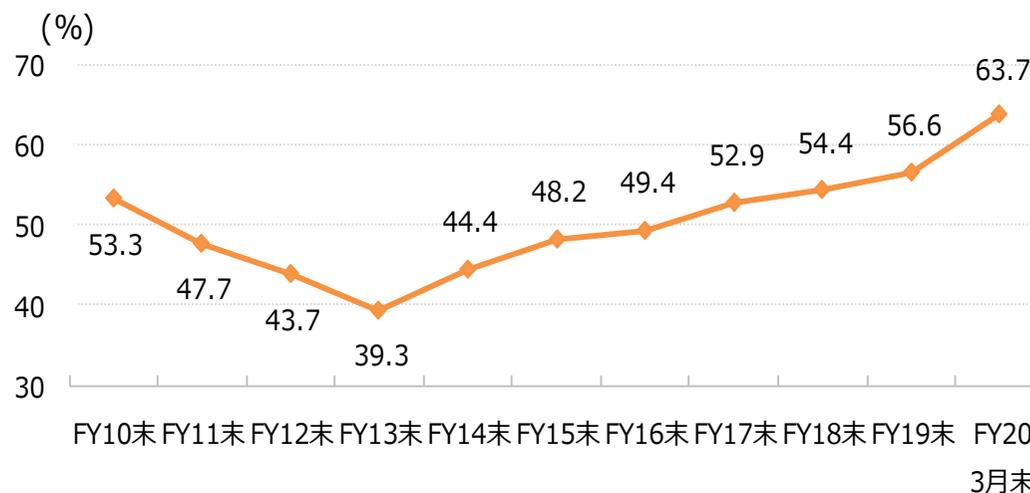
AVANT

財務状況

2020年3月末

資産 104億円	負債 37億円
	純資産 66億円

自己資本比率の推移



キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2019年 6月期 第3四半期	2020年 6月期 第3四半期
営業CF	264	467
投資CF	△223	△258
フリーCF	40	209
財務CF	△230	△289

主な増減の要因

・ 税金等調整前四半期純利益	1,692百万円
・ 減価償却費	149百万円
・ 引当金の減少額	△225百万円
・ 前受収益の減少	△365百万円
・ 売上債権の減少	121百万円
・ 未払金及び未払費用の増加	49百万円
・ 法人税等の支払額	△926百万円

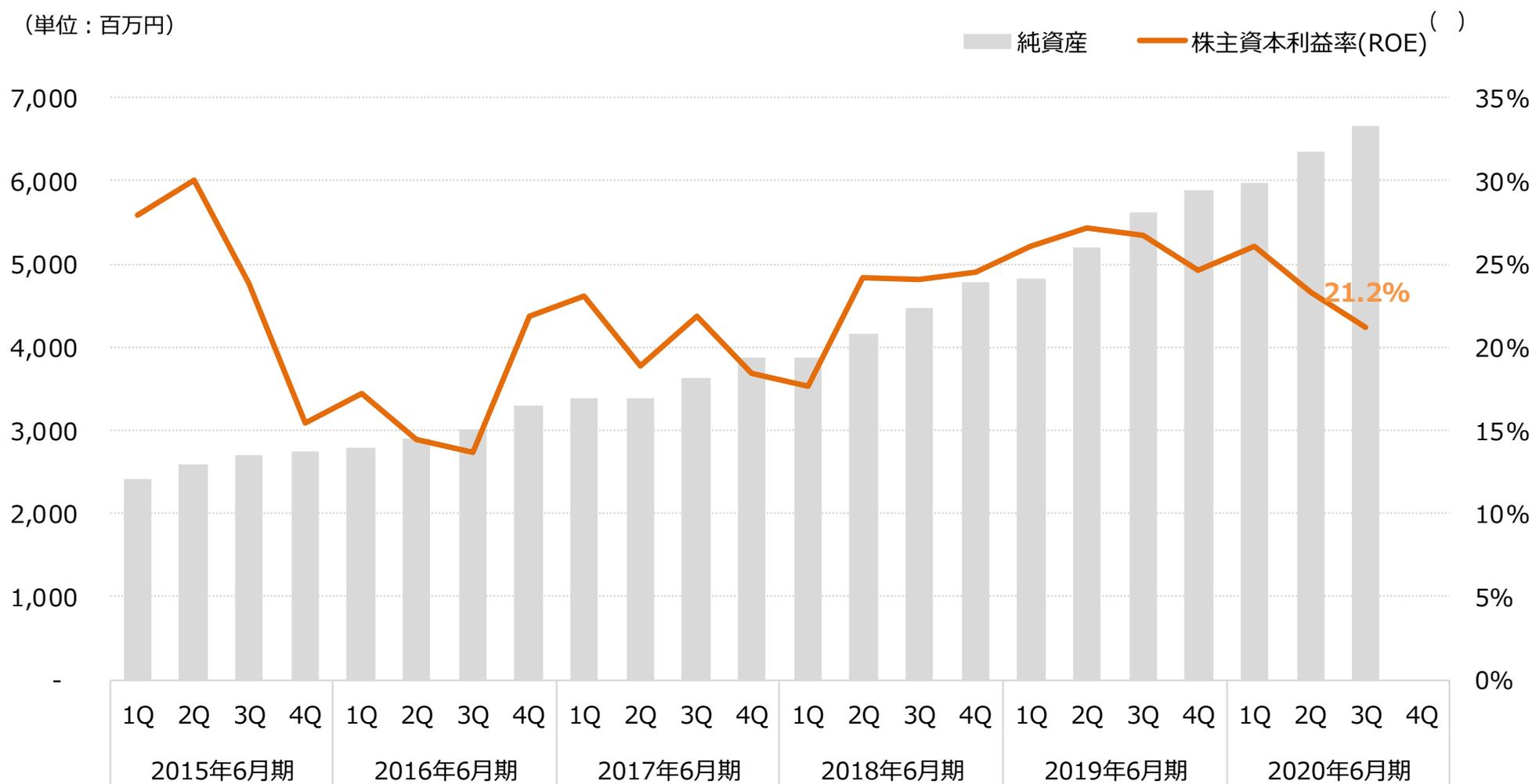
・ 有形固定資産の取得	△157百万円
・ 無形固定資産の取得	△53百万円

・ 配当金の支払額	△281百万円
-----------	---------

～ 中長期的に、平均20%以上の維持が目標 ～

- 当社グループの経営原則を遵守し、収益性をさらに高め、かつ、資産をより効率的に運用することを通じて、ROEの向上を目指す

(単位：百万円)



※過去4四半期分の数値を基に計算しています。

Ⅱ.業績予想 および 配当予想

2020年6月期 通期業績予想

AVANT

～ 売上・利益共に高成長続く ～

- 連結会計関連事業では大型案件が収束するため二桁増収を見込んではいないものの、ビジネス・インテリジェンス事業及びアウトソーシング事業は順調に推移し、全体でも二ケタ台の増収は確保できる見通し。営業利益率は前期と同水準を維持する見込み
- 現時点でコロナウイルス感染の影響は見られず、通期予想に変更はないが、今後の企業の投資行動の変化に対応すべくコスト管理の強化を検討

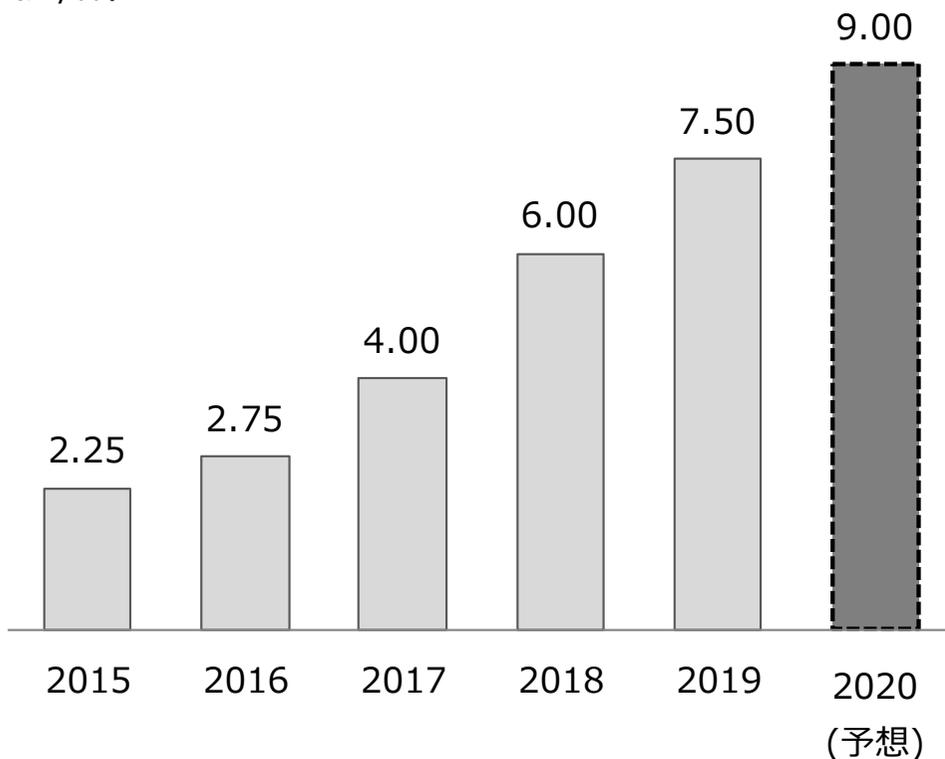
(単位：百万円)

	2019年 6月期 (実績)	2020年 6月期 (予想)	増減額 (FY20 vs. FY19)	増減率 (FY20 vs. FY19)
売上高	14,077	15,480	+ 1,402	+ 10.0%
営業利益	1,966	2,165	+ 198	+ 10.1%
営業利益率	14.0%	14.0%	—	+ 0.0 point
当期純利益	1,317	1,353	+ 35	+ 2.7%

～ 2020年6月期配当予想は、1株当たり9円 ～

- 2020年6月期は、安定的な配当を継続して行う方針に沿い、増配予想に変更なし

(円/株)



(株式分割調整後)

<AVANT株主還元の考え方>

- 配当は株主還元政策の重要事項の位置づけ
- 純資産配当率などの指標に注目することで、毎期の業績に大きく左右されることなく、配当金額を安定的に維持ないしは向上していくことを指向
- 純資産配当率はその値を徐々に引き上げ、東証全上場企業の平均値を常時上回ることを目指す

AVANT